

7月
28日

ユネスコ無形文化遺産 尾張津島天王祭

～市江車～

今年は、東海地方の梅雨明け宣言発表と同日となった尾張津島天王祭の朝祭。朝祭のみに出船して常に先頭を進む市江車は、東保町を中心とした幼児から大人まで大変多くの人々が担っています。

また、車楽舟の上部に置かれる能人形は、26の能の演目から毎年くじで選ばれます。今年は「猩々」で、平成25年以来6年ぶり、記録が残っている中で9回目となりました。

祭りを次世代に受け継ぐためにも、より多くの子どもたちに尾張津島天王祭を理解してもらう、津島市教育委員会と開催している講座「祭りを学ぶ」では、祭りの準備が進む天王川公園と津島神社の散策学習やお囃子体験、「津島祭礼図屏風」で江戸時代の祭りの様子を学びました。朝祭では棧敷舟に乗って朝祭を見学しました。



7月
26日

トマトパワーを味わおう!

～親子加工トマト収穫
&ケチャップづくり体験教室～

夏休み限定企画として、愛西市を代表する農作物であるトマトについて理解を深めようと体験教室が行われました。

佐屋高等学校生徒の皆さんの協力で、実際にトマトを収穫し、ケチャップ作りに挑戦。玉ねぎやトマトを刻んで煮込んで、調理室が良い香りに包まれたところで出来上がり。夏の素敵な思い出になりました。



7月
20日

夏だ! 食べるぞう~!

～流しそうめん～

立田北部子育て支援センターで、夏の風物詩「流しそうめん」が行われました。職員の手作り流しそうめん台を見て、子ども達は興奮しながらスタンバイ。流れてくる麺を、歓声を上げながら箸ですくい味わいました。

ところが、流れてきたのはそうめんだけではなくありません! きゅうりやミニトマト、ゼリーなどなど…。

そして最後にはスーパーボールも登場。みんな必死にキャッチしようと箸で追いかけていました。

参加した子ども達は、とびきりの笑顔で夏の一日を楽しみました。

